

「輝け！フネージョ★inほっかいどう」

～海事産業における女性の活躍を応援します～

船員として働く女性の座談会を開催しました！

北海道運輸局では、平成31年1月22日（火）に、船で働く女性と船員を目指す学生による座談会を開催しました。

座談会では、まず、それぞれから自己紹介と船員になった（目指す）きっかけについて、話していただきその後、船員としての働きがいや課題について意見交換を行い最後に船員を目指す女性に向けたメッセージが語られました。

記

- 日時 平成31年1月22日（火） 13：30～15：30
- 場所 オーセントホテル小樽 11階トップラウンジ「ポールスター」
小樽市稲穂2丁目15番1号
- 参加者 船員として働く女性及び海上技術学校生 9名
船員： 第一管区海上保安本部小樽海上保安部 村上 美咲
新日本海サービス株式会社 佐々木 綾女
スターマリン株式会社 山田 京香
合同会社小樽カナルボート 林 愛実
生徒： 小樽海上技術学校 女子生徒
運輸局： 海上安全環境部海技試験官 小川 涼
～司会進行～ 海事振興部旅客船舶産業課課長補佐 武部 千穂

※ 座談会の概要・主な意見等は別紙をご覧ください。

C to Seaプロジェクト
海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。
ポータルサイト「海ココ」→



【問い合わせ先】
北海道運輸局海事振興部船員労政課
担当：海老名・渥美
TEL：011-290-1014（直通）
FAX：011-290-1021



別紙

【座談会の概要】

座談会は、少子高齢化が進展する中で労働力不足となっている海事産業において、船員という仕事は男性中心の職場で、女性が占める割合は、まだまだ低い状況にあるため、船員の世界でも女性の活躍を一層推進することを目的に開催しました。

進行役も北海道運輸局の女性課長補佐（武部千穂海事振興部旅客船舶産業課課長補佐）が務め、男性シャットアウトで「女子会」のようななごやかな雰囲気で行われました。

◎主な意見については、次のとおりまとめました。

① 船員の職場の魅力について

- ・ 20日勤務して、10日休みというローテーションなので、好きな旅行ができる。（10日間だと海外旅行へも行ける）
- ・ 仕事や日常生活での困りごととも広い海に出れば細かいことは気にならず、おおらかな気持ちになる。
- ・ お客さんの笑顔や「楽しかった」の一言がうれしい。
- ・ 長期航海では海の美しい景色やグリーンフラッシュ、船のまわりを泳ぐイルカなどを見ることができて、清々しい気持ちになる。
- ・ 機関士は「船のお医者さん」と言われているが、小さな機関故障に気づき、大きな故障になる前に直してあげることができると達成感がある。

② 抱える悩み・問題点について

- ・ 年長の男性達に囲まれて仕事をしているが、自分たちにできることは他の人もできて当然という考えの方が多く、重い部品でも「機械を使わずに運ぶのが当然」と思っているので、日頃から身体を鍛えている。
- ・ 長期勤務が続くとホルモンバランスが崩れて、身体の不調を訴える人が多い。
- ・ 恋人同士の際に遠距離恋愛となり、結婚までにいたらずに終わってしまうことに悩む人もいる。

③ 女性船員を増やすためにはどうしたらよいか

- ・ 海の仕事が知られていないので、知ってもらうことが大切。
- ・ 海の事を学ぶ機会が少ないので小中学校での海事教育が必要ではないか。
- ・ 女性の採用が増えて行けば、職場環境が整い、女性船員が増えていくと思う。

④ 女性船員として困ったことや失敗したこと

- ・年長の男性に指示をするときに「指示口調」では相手に不快な思いをさせると思うので、柔らかく「お願い」するようにつとめている。
- ・女性はずいつい感情的な言葉を発してしまうことが多いので、一度、よく考えてから発言するようにしている。

⑤ 生徒から船員へ質問

- ・長期乗船の時に家はどのようにしているか
→「実家暮らしをする」「乗船地の近くに家を借りる」の2パターンに分かれる
家を借りる場合は不在なのに家賃がかかってしまうが、乗船している間はほとんどお金がかからないので、割り切って借りている人が多い。

⑥ 船員から生徒へ質問

- ・乗船中はスマホとかの連絡手段が使えないことが多いが、不安はないか。
→ 最近はWi-Fi設備が整った船が多いと聞いているので心配していない。
- ・タンカーに乗りたいという女性は少ないと思うが、なぜ乗りたいのか。
→ 他の船より給料が良いと思うから。

⑦ 海や船の仕事のアピールポイント

- ・ローテーションによっては長期休暇が取りやすい。
- ・職場の仲間と家族的な付き合いができる。
- ・船員は特殊な仕事であり、責任は重いがやりがいがある。
- ・海の景色は飽きずにいつまでも見ていられる。すがすがしい気持ちになる。
- ・他の仕事よりも給料が高い。

⑧ 船員を増やすための改善策

- ・海の仕事が知られていないので、小中学校の時から海を知る教育をすると良い。
- ・海上技術学校は自宅か寮から通うことが義務づけられているが、女子寮がない学校があるので、寮を作ってほしい。
- ・海上技術学校に入っても女子生徒が少ないので寂しい、もっと増えてほしい。

⑨ 船員を目指す女性へのメッセージ

- ・船に乗ることに親が反対する可能性があるようだが、船は意外と安全で女性が乗り組んでも大丈夫。
- ・身体を動かすことが好きな女性は、やりがいがあって楽しい仕事なので、ぜひ目指してほしい。
- ・女性だからできないことや困ったことを聞かれても思い浮かばないくらいに女性が船員になることに問題はないと感じた。
- ・体力や身長では男性にかなわないが、細かい仕事や気遣いが求められる仕事は女性の方が向いている。
- ・機関部での細かい作業や海図で細かく航路を計算するなど、船には繊細さを求められる仕事がたくさんあり、女性ならではの特性をアピールすれば船員の職場で活躍できる場面はたくさんあると思うので、ぜひ船員の職場を目指してほしい。



座談会の様子



最後に記念撮影